



【防府】厚生労働省で

は、優れた技能と経験を持ち、担当する現場や部署で作業の安全を確保して優良な成績をあげた職長を対象に「安全優良職長厚生労働大臣顕彰」を実施しているが、

このほど安全管理や作業指揮などの能力が優秀で、知識、技能の普及や継承についての活動が認められ、平成26年度安全優良職長として(有)

安全技能を後進に伝授

「安全優良職長厚生労働大臣顕彰」受賞

(有)栗栖工業 飯塚 紀彦氏

協会山口県支部から優等参加、安全協議会への出と、資材の手配や配車が良職長として高く評価され、安全衛生管理業務が増えた。この顕彰は、セーフティマスターとも言われ、平成20年の山口マイスター認定時も思ったが、最先端の安全技能を身に付け、それを後進に伝えていく立場だと感じ

協会の横顔として、昭和60年に入社後平成14年に一般及び技能士、21年に登録・高土工基礎技能者を取得、22年からは足場や鉄骨の組立て等作業主任者技能講習会の講師を務める。また、型枠支保工や鋼橋架設、コンク

栗栖工業の飯塚紀彦氏(49)が選ばれた。そこで飯塚氏に今の現場責任者として、とび工事の作業指揮を行っている。職長を管理する役割、重要性を再認識することや自ら職長として現場管理を行うこと、施工や安全に関する現場が重複してくる

現在の仕事は。主任者技能講習会で講義する足場の組立て等作業主任者技能講習会での講師を務めている。その経歴により、作業員の適正な配置や教育など職長としての役割、重要性を再認識することや自ら職長として現場管理を行うこと、施工や安全に関する現場が重複してくる

足場からの墜落防止対策を強化するため、7月に労働安全衛生規則の一部が改正されると聞いています。足場の組み立て作業が、特別教育の対象となり安全帯の取り付け設備や安全帯を使用させる措置を講ずることになり、手すり先などを重視した安全施工を行うことが法制化されれば、セーフティマ

【会社概要】
 栗栖工業▽本社 山口県山陽小野田市中野3-7-13
 △創業 昭和60年9月
 △代表取締役 栗栖龍男
 △事業内容 1. び工事全般(足場仮設工事、機械器具搬入工事、鉄骨工事、橋梁架設工事、防護柵施工)など。平成26年11月、若



平成25年の第50回全国建設業労働災害防止大会で安全衛生会長表彰(功労賞)を受賞し、また建設業労働災害防止

【山口県知事表彰】を受賞